



最小の努力で
劇的に**成績UP**

現役医師が経営する医学部専門予備校

長井ゼミ 医系学舎



1点でも多く得点 1年でも早く合格

多くの医学部専門予備校は情報ばかりを重視していますが、
私は本番入試で1点でも多く得点を取ればいいと思っています。
実際、知人の入試に関わっている医学部教授たちも同意見です。

ぜひ長井ゼミ医系学舎で成績を伸ばし
1年でも早く合格の栄冠を勝ち取ってください。

長井ゼミ医系学舎 主宰
医療法人ハンス理事長
心療内科医 長井敏弘

CONTENTS

長井ゼミ医系学舎はココがすごい.....	3
3つの絶対合格メソッド.....	5
3つの絶対合格サポート.....	13
授業形式及び内容.....	19
合格体験記.....	27
主宰からの挨拶.....	29

自分で考える力をつけないと、最近の入試問題は解けません

長井ゼミ医系学舎では、解答ではなく解法を教えます

生徒一人ひとりに寄り添い、医学部合格という夢を叶えてもらうため…

講師・スタッフ全員が全力でバックアップします



長井ゼミ 医系学舎は

3つの絶対合格メソッド



少人数進化型ハイブリッド授業と
オリジナルテキスト



予備校内に
生徒専用勉強スペース



医学的根拠に基づく勉強法

ココがすごい！

3つの絶対合格サポート



SOAPシステムによる学習分析と
日常生活サポート



現役医師による面接指導と
医療スタッフのサポート



安心のサポート体制
提携寮&入退室チェック



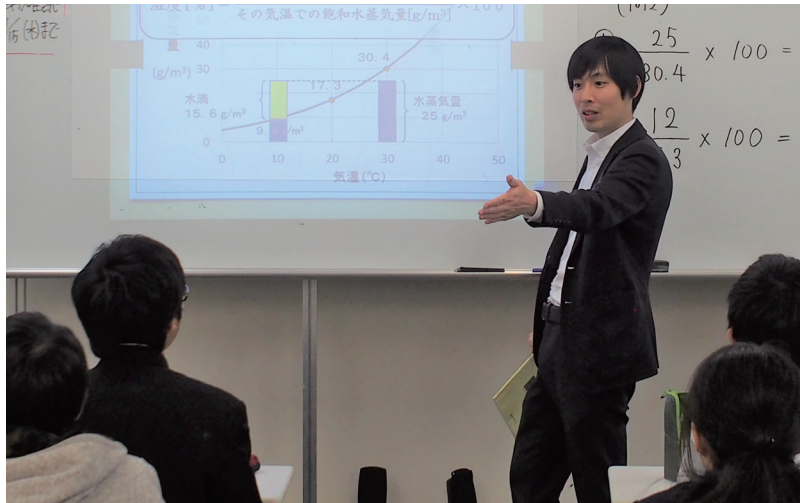
3つの絶対合格メソッド

01 少人数進化型ハイブリッド授業とオリジナルテキスト

デジタル映像と白板のハイブリッド授業

「どんな勉強法が最も学習効率が良いか」というアメリカの大学での実証実験(Learning Pyramid)で、少人数による参加型授業が最も学習効率が高いということが判明しました。

長井ゼミ伝統の【ゼミ形式授業】は、一般的な集団授業とは違い**デジタルを用い、個別指導と集団授業の良さを融合した進化型授業**です。



● ハイブリッド授業とは



私たちの脳は、映像や音などを直感的に把握する右脳と言葉や文字などを論理的に把握する左脳に分かれ、右脳と左脳は脳梁という架け橋のようなもので情報をやり取りしています。今までの授業は黒板や白板に書かれた文字、そしてわかりにくい図やイラストで説明していましたが、講師が板書したり図を書いている間、生徒は待たなければなりません。

医系学舎では、**映像によるデジタル授業と白板による授業を組み合わせた『ハイブリッド授業』**を実施しています。これにより生徒から「**わかりやすい**」と好評を得ています。

個別指導→少人数授業

個別指導は生徒一人ひとりの弱点や苦手分野を克服するには有効なので医系学舎でもかなり実施しています。しかし試験会場では周りの大勢の受験生を意識せざるを得ません。1年間、個別指導ばかり受けていたため本番で緊張して実力が発揮できなかったという声も耳にします。



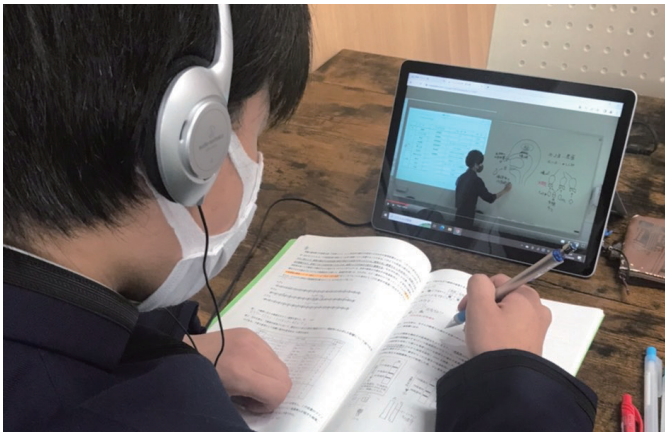
個別指導で基礎力をつけた後、少人数クラスの授業やテスト、暗記会などで同じ目的を持ったライバルたちとの競争や励まし合いをすることにより、飛躍的に力がついていきます。



3つの絶対合格メソッド

ビデオ学習

急用や体調不良などで授業を欠席してしまった場合でも、ご自宅のパソコンやタブレットなどで欠席した授業を視聴することができます！いつでも復習可能です。



長井ゼミオリジナルテキスト

過去の入試問題を分析、入試問題を解くために必要な知識を網羅してある「これだけやれば大丈夫問題集」。生徒たちは、この大丈夫テキストを3回～4回と繰り返し解くことで、ほとんどの典型問題ができるようになります。



T・Y さん 広島城北高校卒

藤田保健衛生大学医学部医学科合格

きっかけは少人数授業 よかったところはオリジナルテキスト

長井ゼミを選んだきっかけは、現役医師が塾長であるということと医系専門予備校でかつ少人数で大手予備校より授業内容を理解しやすいということです。また長井ゼミの良かったところは、まずテキストの中に大事な点がコンパクトにまとまっているところ、そして授業では、問題の解法を分かりやすく順序立てて教えてくださったところです。（「合格者の声」より一部抜粋）

朝テスト

医系学舎開校以来、**朝9時からの【朝テスト】を実施**しています。

Dr.長井によると『人間の脳は眠っている間に、その日の出来事を脳で記憶すべきこととそうでないことのふい分けをしており(それが夢として現れます)、起床後数時間は脳が整理されているため、記憶を受け入れやすい状態になっているので、**朝は記憶にはベストな時間帯だ。**』ということで【朝テスト】が始まりました。実際、生徒の知識量はどんどん増えていき、知識を元にした思考力もアップ、効果は絶大でした。

【朝テスト】は90分間に2回実施されます。

1回目

9:00~9:30 入試に必要な重要項目(英単語熟語・数学公式・物理化学生物の重要事項など)が書いてあるプリントの暗記

9:30~9:40 上記内容のテスト

2回目

9:50~10:20 入試に必要な重要項目(英単語熟語・数学公式・物理化学生物の重要事項など)が書いてあるプリントの暗記

10:20~10:30 上記内容のテスト

【朝テスト】の内容は以下の4種類

英単語熟語

数学公式/重要事項

化学/物理/生物重要事項暗記会

数学計算練習

3つの絶対合格メソッド

～医系学舎に通っている生徒の時間割例～

※1コマ90分

	月	火	水	木	金	土	日
9:00～10:30	朝テスト (英単熟語)	朝テスト (物化生知識)	朝テスト (数学計算)	朝テスト (英単熟語)	朝テスト (数学知識)	朝テスト (物化生知識)	専用勉強 スペースで自習
11:00～12:30	英語	小論文	物理	化学	小論文	数学	
12:30～13:30	お昼休み						
13:30～15:00	数学	生物	英語	英語	数学	化学	専用勉強 スペースで自習
15:30～17:00	物理	数学	個別指導	生物	英語	個別指導	
17:30～19:00	個別指導	個別指導	個別指導	個別指導	個別指導	個別指導	
19:30～21:50	専用勉強スペースで自習						

※ 個別指導はオプションです

02 予備校内に自分専用スペースと 12時間質問対応の常駐講師

医系学舎では自分の勉強スペースを校舎内に設置しています。

朝9時から夜10時まで、予備校生専用の勉強スペースで集中して自習ができ、わからなければ2階の講師室にいる先生たちに質問ができます。



いつでも常駐講師に質問可能！ フリースペースでは質問も雑談もOK

T・N さん 修道高校卒

東海大学医学部医学科等合格

生徒と密にコミュニケーションを取り、
寄り添う予備校は長井ゼミの他にない

長井ゼミに入塾して、多くの教師の方々が幾度なく声をかけてくださったり、相談に乗ってくださいました。私は高校生の頃いくつか予備校に通いましたが、このように生徒と密にコミュニケーションを取り、寄り添う予備校は長井ゼミの他にないと思います。（「合格者の声」より一部抜粋）

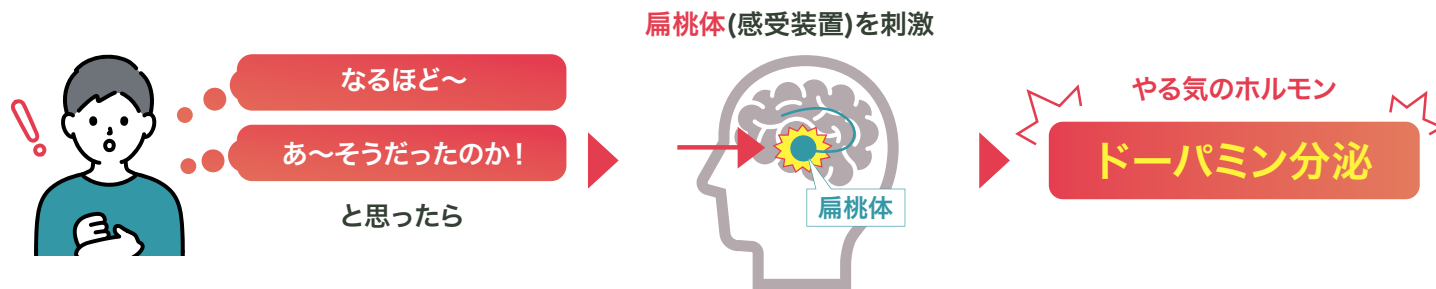
一緒に勉強する仲間と支えてくれる先生がいれば1年間頑張れる

3つの絶対合格メソッド

03 医学的根拠に基づく勉強法 以下はDr.長井の記述

脳の扁桃体を刺激して勉強意欲をUPさせる

「辛いけど勉強頑張ろう～」と量をこなしても成績は伸びません。医学的には「あ～そうだったのか！なるほど～」と感動すると脳の扁桃体が活性化して勉強意欲も出てくるのです。長井ゼミの講師は、本質を教え、解答ではなく解法を教えます。



本質を知ると勉強意欲がUP。勉強が楽しくなります



Dr.長井執筆の「医学で合格する勉強法」(Amazonで☆4.4)に基づいた、最小の努力で最大の効果をあげる勉強法を実践して飛躍的に成績UP!

過去の例 2浪してどこの大学医学部にも合格しなかったK.H君

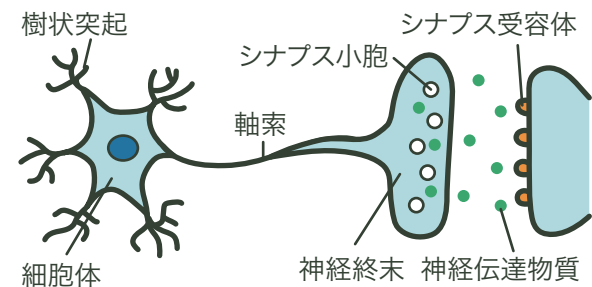
今まで毎日サボることなく真面目に勉強に励んでいましたが結果が出ず、大分県から広島にある長井ゼミ医系学舎に入塾。勉強法を変えただけで1年後には受験した全ての大学医学部に合格しました。

脳神経のシナプスを興奮させることで記憶を固定

コンピューター回路は電流のon off で情報を伝えますが、人間の神経回路はコンピューターとは全く違い、**脳神経のシナプスの興奮と抑制により情報を伝えます**(シナプスとは神経細胞同士が連絡する接点のことです)。

神経細胞に電気刺激が加わり、神経終末が興奮してそこから神経伝達物質が放出されます。すると次の神経細胞にあるシナプス受容体が神経伝達物質を取り込むという構造になっています。

要するに、**何かを記憶するときは、興奮と抑制を用いればいい**ということなのです。



たとえば、humid（蒸し暑い）という単語を覚える場合、紙に100回書くよりは、お風呂に入って「humid 蒸し暑〜い」と叫ぶ方がはるかに記憶に固定できるのです。

実際、幼児が言葉を覚える時、お母さんが言ったことを紙に書いて覚えたりしません。**見て感じて声に出す**。これが**医学的に正しい記憶法**です。

長井ゼミ医系学舎では、私が執筆した「医学で合格る勉強法」(すばる舎)を基に、たくさんの医学的に正しい勉強法で生徒の学力増進を図っています。

(長井 敏弘)

3つの絶対合格サポート

01 SOAPシステムによる学習分析と日常生活サポート

医療現場で使われているSOAPシステムを導入

医師は、診察内容を電子カルテに記載の際、SOAP(※)を使用、これにより患者さんの医療情報を把握、分析して最適な治療に繋げることが可能となります。医系学会では、この**SOAPシステムを生徒さんの弱点補強や成績向上に役立て、生徒面談や保護者面談にて今後の課題などについて説明**します。

※SOAPとは…

S(Subject) 主観的情報…患者の主訴や病歴など

O(Object) 客観的情報…身体・検査・画像所見

A(Assessment) 評価…評価及び問題点の洗い出し

P(Plan) 計画…治療計画、今後の方針



保護者面談



生徒面談

予備校生一人ひとり、合格まで逆算して作られたカリキュラム

4月に医系学舎に入った時点では、予備校生の学力はバラバラです。得意教科、苦手教科、弱点などそれぞれで異なります。そこで、医系学舎では、4月の第1週、まるで検診センターの人間ドックのように皆さんの**勉強に関する精密検査**を実施します。各教科の知識のチェック・数学の計算力チェック・英語語彙力チェック・答案作成チェック、そしてこれらのデータを元に、受験に精通したプロ講師による面談を通して、**1年間の合格へ向けてのカリキュラムを作成**します。

さらに担任の先生と一緒に失敗の原因分析をし今後の勉強計画を立てます。

医系学舎では、生徒一人ひとりに担任の先生がつき、**勉強だけでなく日常生活や悩み事まで相談に乗ってくれます。**



【検査結果の例】

(氏名)医系太郎	教科	知識力	計算力/語彙力	答案作成力/読解力	コメント
得意教科	数学	B	A	C	力はあるが答案作成に改善の余地あり
苦手教科	英語	C	C	D	全ての原因は語彙力がないことによる
その他教科	化学	B			知識はあるがもっと問題量をこなす必要あり

U・K さん 金蘭千里高校卒

近畿大学医学部医学科等合格

少人数制と朝テスト、そして自分専用の自習室

医系学舎の良かったところは、少人数制であること、毎日朝テストがあること、また自分専用の自習室があり夜遅くまで使用できるため毎日重い荷物を持って通学する必要がないことです。先生がいつでも生徒の質問に答えられる状態にあるので、わからないことがあった時にはいつでも聞くことができたことも良かったです。ありがとうございました。(「合格者の声」より一部抜粋)

3つの絶対合格サポート

02 現役医師による面接指導と医療スタッフによるサポート

現役医師長井により面接対策を直接指導！

元岡山大学医学部臨床教授で、大学医学部との人脈豊富なDr.長井が、生徒一人ひとりと直接面接指導をします。

Dr.長井からのコメント

面接官は医師です。医師は一般の方々と(いい意味で)考え方が少し違っており、医師以外の方がいくら面接指導をしても、視点が違うため本番で話が噛み合わないことがよくあります。私が、**面接官と同じ医師の立場から面接指導**します。



面接チェックシート			
学年	高3・卒	氏名	長井 としひろ
性別	男・女		
学校	長井ゼミ 高校	連絡先	090 - 1111 - 1111
志望校	①	大学	医学部 医学科
	②	大学	学部 学科
	③	大学	学部 学科
	④	大学	学部 学科
<1回目>		2月 18日実施	
評価 A B C D E			
コメント欄			
<2回目>		月 日実施	

余談 生徒が持っていた「医学部面接攻略本」を読んで唖然としました。

著者は医師ではないので、その内容は私たち医師の思いとはかなり違ってきます。

たとえば、「受験する大学の入学案内を熟読して、その大学がどんな研究をしているかを調べ、〇〇科の〇〇教授がこんな実績をあげているので貴学を志望しました…と志望理由に書きなさい。」とあるのですが、これは医学生が医師国家試験に合格した後の大学の医局に入局する際の志望理由です。これから医学部に入学しようとする受験生は、受験する大学を選んだ気持ちを素直に書けば、それで十分だと思います。

以前、ある受験生が、学校で「マンガを読んで感動して医師を目指した…と言ってはいけない」と指導されたそうです。私のまわりにはブラックジャックを読んで医師を目指したドクターはたくさんいるし、面接でブラックジャック読んで…と言えば面接の試験官はきっと微笑むはずですよ。

医療法人の医師と医療スタッフによるサポート

医系学舎は複数のクリニックから成り立つ医療法人(内科/外科/ 整形外科/脳神経内科/心療内科)を併設しており、6名の常勤医師と3名の非常勤医師、さらに50名を超える医療スタッフが在籍しています。生徒の**身体的なサポート**はもちろん、主宰であるDr.長井は心療内科医であることから**メンタル的なサポート**も行っています。担任の講師から連絡があれば、**常勤医師が相談**に乗るだけでなく、保護者に連絡の上、治療することも可能となります。

医療法人を併設しているからこそできるイベントを催しています！



医療現場見学



医療法人の現役ドクターの講演



インフルエンザなど予防接種



Dr.長井による医学部生や医師の現状などの裏話の講演。

医学部に合格したいという意欲が強くなり、以前にも増して勉強に集中することができます。

O・Rさん 広島女学院高校卒

川崎医科大学医学部医学科合格

長井先生の模擬面接のお陰で、本番に向けて準備ができました！

私は人前ではっきりと意見を言うことが苦手だったので、面接の練習では苦労しました。でも、長井先生が面接の練習をみてくださり、医師である長井先生の前で何回も話すことによりだんだん緊張感がなくなり、はっきり言えるようになりました。(「合格者の声」より一部抜粋)

3つの絶対合格サポート

03 安心のサポート体制 提携寮&入退室チェック

受験に専念できる一人暮らし! 提携寮をご紹介します

医系学舎では3つの提携寮をご紹介します。

朝夕の2食、栄養バランスのとれた食事付で忙しい受験生活の中でも勉強時間を確保できます。

※人気寮のため、早めのご契約をおすすめします



※画像はイメージです

リヴェール エキキタ

〒732-0053

広島県広島市東区若草町8-7

JR広島駅より 徒歩7分

・朝夕2食付き ・家具付き



※HPから抜粋

ドーミー広島駅北

〒732-0057

広島県広島市東区二葉の里2-4-5

JR広島駅より 徒歩8分

・朝夕2食付き ・家具付き



※HPから抜粋

ドーミー広島駅前2

〒732-0056

女子専用

広島県広島市東区上大須賀町7-12

JR広島駅より 徒歩約6分

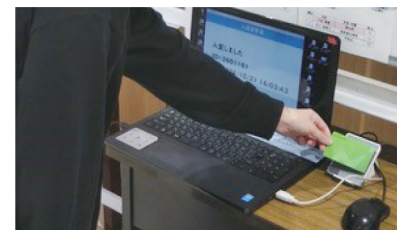
・朝夕2食付き ・家具付き



※HPから抜粋

入退室メール

来校時、校舎に設置しているカードリーダーに塾生証をかざすことで、予め登録された保護者様のメールアドレスにお子様の入退室状況を送信するサービスです。塾に通わせるうえで、保護者の皆様が当然お持ちになる心配、それを解消するのがこのシステムです。**無断欠席の場合は、担任の講師が塾生に連絡し出席を促します。**



塾保険

在籍生徒が塾・予備校におられる間に、ケガをされた場合はお見舞金が、また故意ではなく塾の物品を壊してしまった場合には、保険金が支払われます。

I・A さん 就実高校卒

東京女子医科大学医学部医学科等合格

決め手は徒歩数分の場所に提携する女子寮と 医学部医学科合格実績

浪人すると決断した際、「親元を離れ寮生活を行いながら勉強に専念することのできる医学専門予備校に通いたい。」と思いました。長井ゼミに決めたきっかけは、徒歩数分の場所に提携する女子寮があり、医学部医学科の合格実績がとても高いことでした。（「合格者の声」より一部抜粋）

授業形式及び内容

カンファ授業

病院のカンファのような授業

長井ゼミ医系学舎の授業は、個別授業でも集団授業でもない、医系学舎オリジナルの新しい形式 **カンファ授業** です。
個別授業よりも、もちろん集団授業よりも、**かなりの学習効果が期待**できます。

病院やクリニックでは医師や看護師などの医療チームが患者さんに関する情報を共有して、患者さんの問題点などを解決する検討会を実施します。

病院やクリニックでのカンファレンスの流れ

担当医師から【ある患者さんに関する諸々の情報】を数名の医療スタッフに **説明**

医療スタッフ全員が【情報】を共有して **理解**

各医療スタッフは【情報】に関する疑問点を担当医師に **質問**

医療スタッフは患者さんの【問題解決】へ向けて意見を出し合い、担当医師が最終決定



医療法人ハンス 宮内総合クリニック

カンファレンス風景

長井ゼミ医系学舎では、病院でのカンファレンス形式のような授業を行います。
他の予備校や塾で見られるような生徒が一方向的に授業を受ける…という形式はとっていません。

長井ゼミ医系学舎のカンファ授業の流れ

担当講師から【入試問題を解くための諸々の情報】を
生徒たちに【説明】



生徒全員が【情報】を共有して【理解】
理解したかどうかのチェックテストを実施



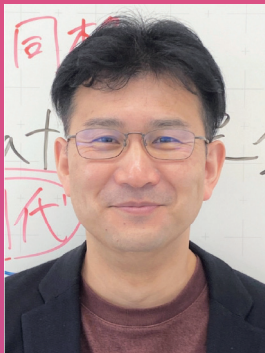
各生徒は【情報】に関する疑問点を担当講師に【質問】



生徒はテキストにある【関連した問題を解き】
担当講師が採点してアドバイスを与える



英語



川西 先生

医学部合格を目指すなら、英語は広範囲にわたる知識を身に付け、記述解答も細部にまで注意を払う必要があります。授業内はもちろん、授業外でも、要約や英作文の添削でしっかりと指導していきます。知識量、解答の仕方などすべてにおいて現役生に圧倒的な差をつけます！一緒に頑張りましょう！！

講座内容

英文読解	週2回
英作文	週1回
英文法	週1回

充実の週4回の授業で、医学部入試合格レベルまで必要事項を網羅！！
毎回の小テスト(単語テスト・文法テスト)、授業内の確認テストで、重要内容の定着までサポート

添削指導

- 英作文添削指導
- 要約問題の添削
- 問題集などの英文和訳・和文英訳の添削

入試対策は、英作文添削指導が不可欠！
常勤講師が、生徒のレベル・志望校に応じて添削指導！

その他にも、授業の質問、学習計画のアドバイスなどなど
いつでも、講師に質問できる！！

英語

数学



中河原先生

医学部合格のために必要なものは、
「知識,発想力,計算力」

この3つを大丈夫問題集を使って,授業の中で鍛えていきます!授業の中で出てきた疑問はその日のうちにドンドン質問して解決してくださいね。

真剣に授業に取り組む,大丈夫問題集を解きまくる⇒復習して,疑問点があれば,いっぱい質問して理解!

これができれば,数学の成績はあがりますよ!一緒に頑張りましょう!!

講座内容

数学ⅠAⅡBC 週2回

数学Ⅲ 週2回

週4回の授業で,医学部入試合格レベルまでの数学に対応します。

数学ⅠAⅡBC

前期 大丈夫問題集ⅠAⅡBCを使った授業などで数学の実力をつけ,授業内の確認テストで,理解度をチェック

後期 テストゼミ形式の授業も取り入れて,前期で勉強した内容をアウトプットする練習をして,実戦演習に力を入れます

数学Ⅲ

前期 もう一度数学Ⅲの基本的な考え方を総復習して,応用問題を解く準備をします。

後期 大丈夫問題集Ⅲを使った授業と演習テキストで数学Ⅲの力を高めます。

『大丈夫問題集+オリジナルテキスト』で数学の力を伸ばしていきます!!

化学



福武先生

生徒の「なぜ？」に全力で向き合い、スムーズに解答を導くための「頭の中」をみせる授業を展開していきます！疑問点があれば気軽に質問しにきてください。1年間一緒に頑張っていきましょう！

基礎知識

全単元の基本知識をもれなく指導します。

多くの受験生が苦手とする「気体」や「化学平衡」はもちろん、「化学基礎」の最初から知識の抜けがないように指導します。

応用問題演習

応用問題の演習を行います。

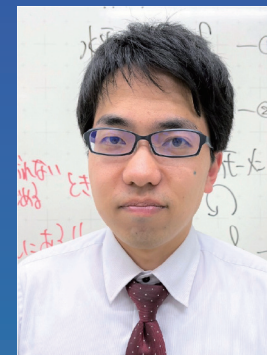
「有機物の構造決定」など、思考力を要する問題では図を用いて解法を丁寧に説明することで、医学部入試に対応できる力を養成します。

暗記方法

暗記方法を伝授します。

「無機」や「高分子」などの暗記内容が多い単元では、理屈を丁寧に説明することで、丸暗記を減らします。

物理



五明先生

物理の問題を解くには、公式を覚えるだけでなく、物理現象の理解もセットで必要になります。授業では、それらをセットで教えていくのでしっかり付いてきてください。1年間一緒に頑張りましょう。

基本事項の解説→問題演習

基本事項

物理現象を考えるために用いる原理や様々な法則のことです。
物理において基本事項の理解が重要です。



問題演習

次に、これら物理現象に関する問題の演習をします。演習問題は大学入試における典型かつ頻出の問題を厳選しています。問題の解き方の暗記になることのないよう、しっかりと起きている物理現象を理解し、なぜこの解き方でなくてはならないかを踏まえながら進めていきます。

そして、「基本事項の理解→問題演習」のサイクルを繰り返し、大学入試における物理の全単元を学習します。

生物



丸井先生

悩める生物選択者諸君!“解ける力”が欲しくはないかい？長井ゼミ医系学舎の生物講師は必要なものを全部授けます。解けない問題の解き方も、アプローチ方法も、答え方も！成績UPに向けて一緒に頑張っていきましょう！

たった8か月で生物・生物基礎が完成

週2回の講義で、理系生物選択者にとって必要な生物・生物基礎の内容を、11月までの約8か月で全て履修し終えます。その後、12月からは実践形式の演習で磨きをかけます。また、医学部入試で必須となる論述対策を、「生徒個人」対「生物講師」でも進めていくため、自分のペースで進めることが出来ます。

最近の入試に即した講義・単元テスト

理系生物選択者が入試で求められる力は、「計算力」「考察力」「論述力」。これらの力を講義で培い、単元テストで発揮していく。単元テストは複数の単元をまとめて行うため、分野の融合問題にも強くなる！

生物

小論文

基本的書き方

「そもそも小論文はどう書けばいいのか？」

「小論文を書く際に意識すべきことは何か？」

など、単なる作文にならないために、まずは小論文の基礎から身につけましょう。

医学部小論文に対応できる力

出題形式は他学部と同じでも、医学部小論文では「医学部」ならではの内容が出題されます。

医学部小論文で求められているものは何なのか。身につけておかなければいけない知識は何か。医学部小論文のために必要な力も講義で解説します。

添削指導

「書く」→「添削」→「書く」が一番大事

自分の答案を客観的に評価するのは難しいものです。長井ゼミ医系学舎では「添削指導を受けながら書く練習を積む」を繰り返し行います。良いところをさらに伸ばし、良くない所を改善していくことによって、自分で答案を作成できる力を養います。



高野先生

医学部の小論文試験では、相当量の知識を身につけたうえで、自分が「医療者としての資質」を有していることを答案で示さなければなりません。そのためには、添削指導を受けながら何度も「書く」訓練をすることが必要です。最終合格の栄冠を勝ち取るために、一緒に頑張しましょう！

合格体験記

A.Nさん(修道高校卒)

▶愛知医科大学医学部医学科 他

前にいた塾であまり成績が伸びず、浪人することになったので母からのすすめで長井ゼミ医系学舎に入ることになりました。私は英語が非常に出来なくて苦労していたのですが、レギュラーの授業に加えて、先生にしっかりと指導していただき、成績を伸ばすことができました。また、小論文は先生に添削してもらって、はじめて自分の文の悪いところがあるので、小論文の授業があり、しっかりと見て下さる先生のいる長井ゼミ医系学舎はオススメです。また面接練習もあり、面接の雰囲気もつかむことができたので、本番でも思ったよりも緊張せずに受けることができました。

A.Kさん(広大附属高校卒)

▶東京女子医科大学医学部医学科 他

現役時代、大手塾で失敗したので、少人数で面倒見のいいところが入塾の決め手でした。長井ゼミ医系学舎のいいところは、常に緊張感を持って勉強できるところです。朝テストや単元テストは毎回順位が貼り出され、抜きうちテストもあったりで、常に気が抜けません。自習室では、気がつけば10時というくらい集中して勉強できました。また、授業やテキストの質が高く、しっかり授業を聞いて復習するだけでメキメキ成績が伸びていきました。基礎力がしっかりついたことで、1年でマーク模試の点数が約180点も上がりました

M.Mさん(広島女学院高校卒)

▶兵庫医科大学医学部医学科

友人が長井ゼミに通っていたことや、大人数が苦手だ感じていたこと、苦手科目の化学や数学が分かりやすいと聞いていたことがきっかけで長井ゼミ医系学舎に決めました。長井ゼミ医系学舎の授業の内容は新鮮で、先生方の教え方も分かり易かったため、楽しく勉強することができました。特に数学は最初から知らないことだらけで不安でしたが、テキストや大丈夫問題集を繰り返しやることで解くのが楽しくなっていました。現役の時は苦手で避けがちだった数学と向き合えるようになりました。また、毎日の朝テストや単元テストで自分の学力を確認できてモチベーションを保てたのもよかったと思います。



K.Kさん(北嶺高校卒)

▶兵庫医科大学医学部医学科 他

長井ゼミにお世話になるきっかけとなったのは、医学部に強い予備校を探して、いろいろと探して見つけたことです。広島に説明を聞きに行った時ここしかないと思いました。よいテキストとわかりやすい先生方の説明により、少しずつ成績が上がっていきました。何度も長井先生に面接練習をしていたが、2次試験ではあまり緊張することなく、面接を受けることができました。おかげ様で合格することが出来ました。本当にお世話になりました。大学でも努力します。



T.Yさん(城北高校卒)

▶久留米大学医学部医学科

長井ゼミの医系学舎で浪人しようと思ったのは、少人数制の授業や個人の自習机が確保されていることなどの理由もありましたが、特に決め手となったのは先生方との距離の近さでした。先生に気兼ねなく質問でき、すぐに疑問を解決することができました。成績も徐々に伸びていき、最後の全統記述模試では全ての大学でA判定を取ることができました。そして、合格体験記を書いている今日、久留米大学医学部医学科の合格をもらうことができました。本当にこの一年間ありがとうございました。



S.Mさん(基町高校卒)

▶東海大学医学部医学科

長井ゼミ医系学舎の授業はとても分かりやすく楽しかったので勉強するのが全く苦ではありませんでした。疑問が生じたらすぐに先生に質問に行って分かるまで先生に教えていただきました。先生がいつでも質問に対応して下さるのでとても助かりました。また進路相談などもとても親身になって聞いて下さったので本当に良い先生に出会えたなあと感じました。自習室はとても静かで周りも集中して勉強しているので「私も負けずにやらなきゃ!」という気持ちが自然に生まれました。

主宰からのご挨拶

医療法人ハンス理事長・心療内科医

長井 敏弘 NAGAI TOSHIHIRO

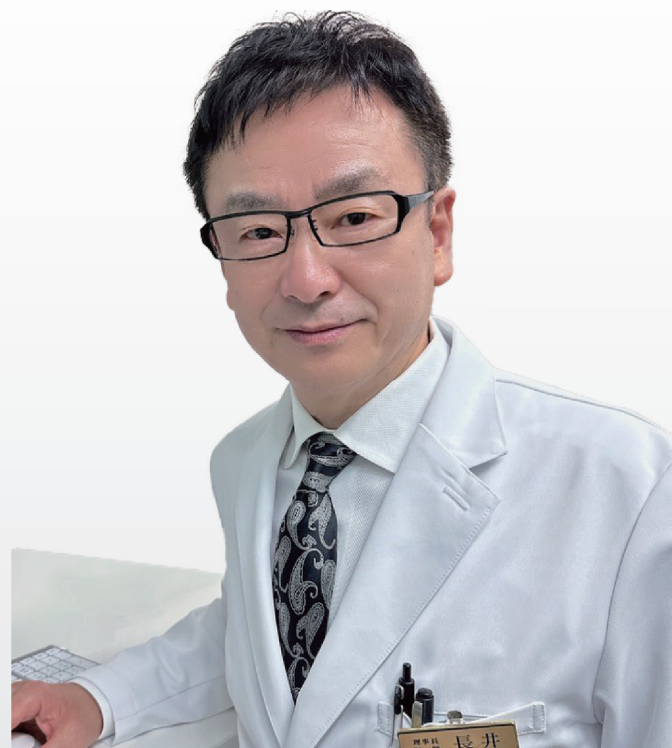
元岡山大学医学部臨床教授 広島城北医会会長

大学(工学部)卒業後、数々の職業を経験して27歳で広島大学医学部に入学、在学中に医学部の学生数名と塾を始め(長井ゼミの前身)、大手予備校の数学衛星放送講師として東京出講、参考書執筆(「長井の数学バイブルシリーズ」)。

卒業後は大学病院や精神科病院を経て心療内科クリニック開業、現在は複数のクリニックからなる医療法人ハンス理事長。



一方で総合進学塾/予備校(現在、広島を中心に20校舎展開)の経営にも携わり、また、テレビやラジオなどメディアに頻繁に出演。現在、地元のテレビのコメンテーターとしてレギュラー出演中。





「ここ数年で医学部入試は大きく変わりました」



今まで、国公立大医学部合格にはセンター試験85~90%の得点率が必要で、一部の私立大医学部でもセンター併用入試を実施していました。

しかし、3年前から共通テストに変わり入試状況は一変、共通テストでは「〇〇は△△である」…という知識を問う問題はほぼなくなり、膨大な量の資料を読ませて答えるという読解力・分析力・解析力が求められています。

私も解いてみましたが、途中で一体何を求めさせているのかわからなくなる設問ばかりで、これは数学ではないな〜!というのが実感でした。

案の定、私立大学では共通テストを併用する大学が激減、共通テストで高得点を取るには、かなりの読解力や分析力を養う必要があります。

今後は、共通テストを受ける必要のない、そして科目負担も少ない私立大学医学部に受験生は殺到するのではないかと予想されます。

事実、医師としての力量は国家試験に合格した後に培われるもので、医学部卒業直後では薬も処方できないし注射一本打てません。私たち医師は、どこの大学を卒業したかではなく、どこの医局出身かを聞かま

す(大学に残って教授になろうと思わない限り……)。

私が医学部受験生に言いたいことは、『大学医学部は医師国家試験に合格するための資格取得学校だと割り切って、1点でも多く得点し1年でも早く医学部に入学してほしい……』ただそれだけです。

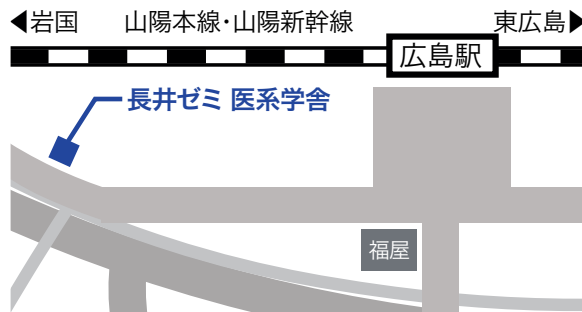
長井 敏弘

長井ゼミ 医系学舎

〒732-0821 広島市南区大須賀14-17

TEL 082-262-4731

(受付時間)月～土 9時～21時



JRでお越しの場合

●JR広島駅南口から徒歩3分